

9月広報カレンダー

1 日 ・田中正造旧宅無料公開日（最終日）
→広報さの8月1日号 P. 12
〔田中正造旧宅（小中町）〕

・栃木県立博物館地域移動博物館
「きょうりゅうのひみつ！」最終日
→広報さの8月15日号 P. 6
〔郷土博物館〕

・第33回佐野市吹奏楽祭
→広報さの8月1日号 P. 12
〔文化会館〕

・第9回佐野市民体育祭（球技）

8 日 ・第9回佐野市民体育祭（陸上）
〔運動公園〕
→広報さの8月1日号 P. 10



17 火 ・ゆるキャラ®グランプリ2013投票開始（予定）

今年も佐野ブランドキャラクター「さのまる」が
エントリーします！
詳しくは、広報さの9月1日号をご覧ください！



応援よろしくお願いします☆

21 土 ・第16回佐野の越名舟唄全国大会
22 日 （21日：予選 22日：決勝）
→広報さの8月1日号 P. 11
〔文化会館〕

29 日 ・葛生伝承館企画展
「神楽の面と衣裳展」最終日
→広報さの8月15日号 P. 6
〔葛生伝承館〕

千葉修平さん（作画監修）
田中正造は、幼少期から晩

「まんが田中正造」P140～141より

第17回
「シリーズ 田中正造」
「没後100年を迎えて」
10月12日(土)、13日(日)文化会館で上演する没後100年記念演劇のチケットを販売中です。一般1千円です。詳しくは、推進室までお問い合わせください。
「よみがえる郷土の偉人」⑤
正造は、国会議員を辞めて天皇直訴を決行、そして後に、遊水池の計画により廃村となる谷中村に移り住みます。ここで、議員の世界から自然に戻り、仲間と行動を共にすることになります。

年に至るまで、自然、特に川と生きている印象がありました。国会議員になっても自然や地域民のために闘っていたからそう感じるのかもしれないが、実際は、自然から政界、そしてまた自然へ戻っています。政界にいた間は自然から遠ざかっていますが、行動する場所が変わっても根底にある気持は変わらず、自分が人民のために活躍する場が政治にはない、それよりも現場で活躍しようと思ったのではないのでしょうか。政界から自然に帰る復帰の場面は、水浸しの谷中村を見るこの場面になります。谷中村の様子を見て、現地から少し離れてしまった自分を感じ、改めて、地域の人々と現場で闘っていると思うたのではないかと思います。晩年に近づくにつれ、だんだんと自然と一体化していくような田中正造が印象的で、非常に魅力的でした。（平成24年10月28日「まんが発刊記念シンポジウム」にて）

■問合せ 田中正造翁没後百年顕彰事業推進室 ☎(22)8832 URL <http://www.city.sano.lg.jp/shozo-ou/>

